

平成17～21年度総括



金沢大学
派遣型高度人材育成協同プラン
企画委員会 代表

大谷 吉生

派遣型・アジア人財育成合同総会 第1部

産学連携による実践型人材育成事業 (派遣型高度人材育成協同プラン)

点検評価・総括会議

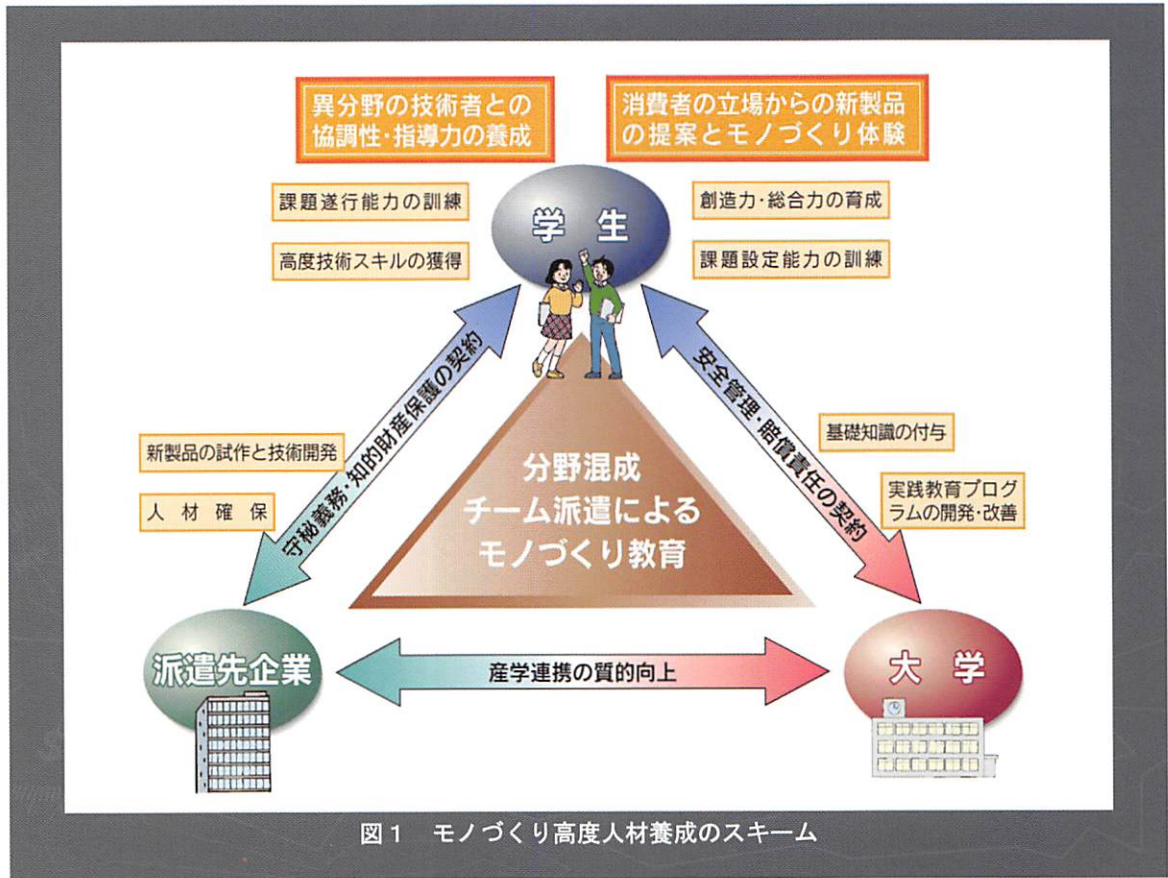
プロジェクトリーダー 大谷 吉生

【本プロジェクトの目的】

新製品開発の全てのプロセスを担当できる
高度職業技術者, 研究開発技術者を育成する

【本プロジェクトの特徴】

1. 混成チームを派遣
モノづくりに重要な異分野技術者との協力
2. 消費者の立場からのモノづくり
消費者が本当に必要とする製品とは？



文科省委託事業派遣型高度人材育成協同プランによる
研究開発型長期インターンシップの実施(平成17-21年度)

課題解決能力・実践力の育成

コンソーシアム
(受入れ企業群)
の全国規模への
拡大

自然科学研究科
創成研究Ⅰ～Ⅲの
分野拡長・規模拡大

創成研究Ⅲ

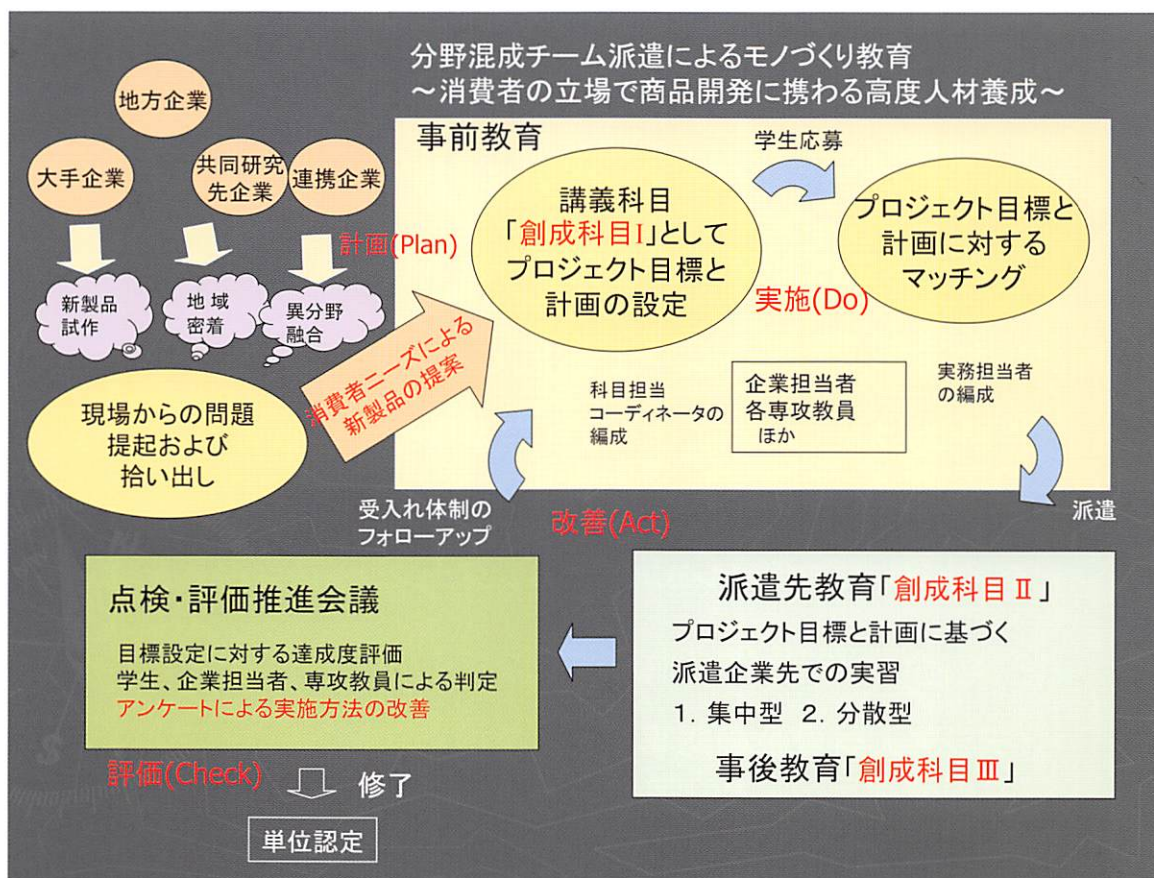
- ・修士論文の課題研究として課題の継続

創成研究Ⅱ

- ・週1-2日, 3カ月間の企業インターンシップで課題に取組み
- ・毎年20-30名の派遣実績
- ・最終報告会・評価会議

創成研究Ⅰ

- ・コンソーシアム企業群による大くりの取組み
研究開発課題の提案
- ・学生の希望とのマッチングと課題の選択
- ・企業担当者・課題指導教員との打ち合わせ
- ・課題実施の詳細検討, 実施計画策定, 研究計画
発表会の実施
- ・機密保持・特許・安全性などの事前教育



5年間の派遣学生数と派遣社数の推移(H17～H21年)

年度	派遣学生数	派遣先企業数
平成17年度	13	8
平成18年度	17	12
平成19年度	18	14
平成20年度	23	17
平成21年度	16	13

中間評価への対応

▶ 消費者の立場からのモノづくりインターンシップ

- ・本学卒業生による「消費者向けものづくりセミナー」の実施

▶ 分野混成チームの組織化とその拡充

- ・特別セミナー「大学院での産官学連携の実践教育のススメ」の実施
- ・成果報告会コンペティションの実施
ベストプレゼンテーション賞やインターンシップ奨励賞を認定

▶ 企業との連携体制の強化

- ・アジア人財資金構想事業との連携・協調
- ・共同研究テーマでの学生の派遣

成果報告会コンペティション

創成研究Ⅱ終了時に実施しているインターンシップ成果報告会において、派遣型参加学生間の研修・成果報告に対するモチベーションをより高めることを目的とし、コンペ形式を導入し優秀な学生を表彰

課題達成度、問題解決能力、プレゼン・報告書作成能力や魅力的な研究(例:社会的なインパクトが期待されるもの等)や、今後も当該研究課題を引き続き実施してもらいたいと思わせるような研究について、ベストプレゼンテーション賞とインターンシップ奨励賞を認定



今後の展開

大学院自然科学研究科博士前期課程

- ・産業界への研究人材輩出のため、学生各人の志向に合わせたキャリアパスの支援の一環として実施
- ・北陸地区の企業との連携強化

博士後期課程への展開

- ・高度専門職業人(開発研究型博士人材)の育成
(博士人材のキャリア形成の支援と産学連携により
博士人材の好循環へ転換)
- ・就職も視野に入れた長期学外実践研修
- ・指導教員と共に共同研究として実施